

多自然地域を後背地とする居住拠点都市の振興に関する調査研究事業

趣旨

わが国には、豊かな自然を有し、地域固有の資源(自然、温泉、歴史・文化等)を生かした雇用を創出している後背地に、一定の都市機能を有する中心部から通勤する住民が多数存在する地域がある。このような地域で多くの住民が居住する都市は、オフィスや工場等を有する中心市に周辺市町村から通勤するという現行の定住自立圏の中心市(昼夜間人口比率が1.0以上)とは異なるタイプの拠点都市として捉えることができる。

このような多自然地域を後背地を持つ居住拠点都市は、一定の都市機能を担い、固有の地域資源を持つ後背地を支える中心市としての機能を発揮しており、圏域全体に対して、その特性に着目した振興策を検討する必要がある。



事業概要

居住拠点都市を中心とする圏域全体に対して、その特性に着目した振興策を検討するため、居住拠点都市とその後背地の振興のあり方について実態調査、実証研究を行う。

平成24年度事業費: 30,000千円

①研究会開催(委員等旅費、謝金)3回	=	1,500千円
②実態調査(旅費等) 10カ所	=	1,000千円
③事例収集、分析、報告書作成(委託)	=	6,500千円
④実証研究 7,000千円×3カ所	=	21,000千円

【実証研究において想定される取組】

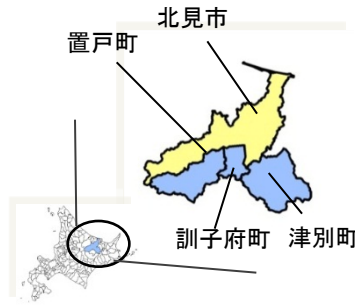
- ・外部の有識者による実地調査
- ・圏域の将来像に関するシンポジウムの開催
- ・アンケート実施、圏域計画策定、HP・パンフレット作成 等

・多自然地域：以下のいずれかの条件に該当する地域
 ①区域の全部又は一部が国立・国定公園に属している地域
 ②2005年農林業センサスにおいて林野率が80%以上の地域

・DID人口：人口集中地区(市区町村の区域内で人口密度が4,000人/km²の
 基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接し、その地域の
 人口が5,000人以上を有する地区)に居住する人口

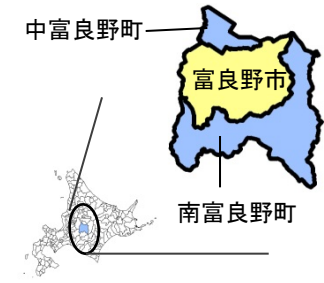
注)各表の数値は平成17年国勢調査による

北見市（北海道）



居住拠点都市			後背地							
市町村名	人口(人)	昼夜間 人口比率	市町村名	人口 (人)	昼夜間 人口比率	居住都市からの 通勤者・通学者数(人) A	後背地における就業者・ 通学者数の総数(人) B	A/B (%)	多自然 地域	過疎 地域
	DID人口(人)									
北見市	110,715	0.9938	津別町	6,222	1.0251	268	2,516	10.65	○	○
	85,202		置戸町	3,699	1.0065	227	1,387	16.37	○	○
			訓子府町	5,981	0.9582	532	1,914	27.8		○

富良野市（北海道）



居住拠点都市			後背地							
市町村名	人口(人)	昼夜間 人口比率	市町村名	人口 (人)	昼夜間 人口比率	居住拠点都市からの 通勤者・通学者数(人) A	後背地における就業者・ 通学者数の総数(人) B	A/B (%)	多自然 地域	過疎 地域
	DID人口(人)									
富良野市	25,076	1.0334	中富良野町	5,707	0.9429	293	1,679	17.5		○
	14,535		南富良野町	2,947	1.0275	152	1,356	11.2	○	○

沼田市（群馬県）



居住拠点都市			後背地							
市町村名	人口(人)	昼夜間 人口比率	市町村名 (人口)	人口 (人)	昼夜間 人口比率	居住拠点都市からの 通勤者・通学者数(人) A	後背地における就業者・ 通学者数の総数(人) B	A/B (%)	多自然 地域	過疎 地域
	DID人口(人)									
沼田市	53,177	0.9894	高山村	4,351	0.9083	194	1,522	12.8	○	
			片品村	5,478	0.9489	280	1,842	15.2	○	○
			川場村	4,179	0.9366	494	1,113	44.4	○	
	21,068		昭和村	7,783	0.9197	680	2,012	33.8		
			みなかみ町	23,310	0.9471	1,746	9,056	19.3	○	○